

I 令和7年(2025年)度 事業報告

1. 事業活動の概要

本財団は、優秀な人材の育成を図り、学問の研究等を奨励し、社会の発展と福祉に寄与することを目的として、全国の証券会社等関係機関からのご寄附により、1973年（昭和48）7月1日に文部大臣の許可を受けて設立され、2011年9月16日より公益財団法人に移行し、現在に至っています。

（1）奨学事業

将来社会の各分野において指導的役割を担う人材を育成するとの趣旨により、大学生・大学院生への奨学事業を行っており、設立以来の奨学生修了者は、2026年3月末日現在3,966名になっています。

今年度は、新規に57名を採用し、学年進行者103名と合わせて160名に対し、奨学金95,460千円を給与しました。

また、7月に奨学金授与式、10月に奨学生懇談会、3月に奨学生修了式を開催しました。この他、大学毎に、現役奨学生と幅広い年次の修了者との懇親を深めることを目的とした証券奨学生の集いを、10月から1月にかけて11大学で開催しました。

（2）研究調査助成事業

高い水準の研究調査を盛んにするとの趣旨により、社会科学の各分野の研究調査を対象に助成事業を行っています。

今年度は、研究調査助成は6件に対し5,980千円を、研究出版助成は9件に対し9,000千円をそれぞれ給付しました。また、11月には研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式を開催しました。

（3）証券奨学同友会支援事業

本事業は、奨学生修了者で組織する証券奨学同友会（以下「同友会」という）が行う活動を支援するものです。

今年度は、5月に関西地区で、6月に関東地区で総会と懇親会がそれぞれ開催され、多数の参加者があり盛況のうち終了しました。

また、12月に同友会関西地区幹事の編集により発刊された同友会報第51号に係る編集業務及び同友会員はじめ関係者への配付業務を支援しました。

2. 事業活動の状況

(1) 奨学事業

新規採用者 57 名及び学年進行者 103 名の合計 160 名に対し、奨学金 95,460 千円を給与しました。その状況は表 1～表 5 のとおりです。

① 奨学生の新規採用状況

新規採用については、指定大学 30 校に対し 2 月 1 日から 4 月 22 日まで募集を行ったところ、30 大学から 74 名の候補者の推薦がありました。候補者に対して、5 月 9 日から 5 月 29 日の間、奨学生選考委員による面接を東京及び大阪の会場で実施し、委員の評価を行いました。その後、6 月 19 日の奨学生選考委員会による選考の結果を受け、同日に開催された書面理事会で本年度の新規採用者 58 名を機関決定しました。(当初は 58 名だったが 1 名が奨学金給与前に辞退)

(表 1) 令和 7 年(2025 年)度の奨学生数及び奨学金給与額

(単位：名、千円)

区 分	博士課程	修士課程	学部	計
学年進行者	2	34	67	103
新規採用者	2	33	22	57
計	4	67	89	160
奨学金給与額	2,400	40,770	52,290	95,460

(注 1) 給与月額は、45,000 円(自宅外者は 55,000 円)です。博士課程は 3 年間、修士課程は 2 年間、学部は 2 年次から 3 年間を給与期間としています。

(注 2) 休学等により給与を休止等している者を含む。

(表2) 令和7年(2025年)度奨学生数(大学別)

(単位: 名)

学 種 大 学	新規採用者				学年進行者				2025年度奨学生合計			
	大学院学生		学部生	計	大学院学生		学部生	計	大学院学生		学部生	計
	博士	修士			博士	修士			博士	修士		
北海道大学	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
東北大学		1	1	2		1	4	5		2	5	7
新潟大学		1	1	2		1	3	4		2	4	6
筑波大学		2	1	3		2	3	5		4	4	8
お茶の水女子大学		1		1		2		2		3		3
東京大学		1	1	2		1	2	3		2	3	5
東京科学大学	1	1		2		2	2	4	1	3	2	6
一橋大学		1	1	2		1		1		2	1	3
東京都立大学		2		2		1	2	3		3	2	5
慶應義塾大学			1	1			3	3			4	4
上智大学			2	2		2	4	6		2	6	8
中央大学			1	1			3	3			4	4
日本大学	1(1)	1		2(1)			2	2	1(1)	1	2	4(1)
法政大学			3	3		1	2	3		1	5	6
明治大学		2		2		1	2	3		3	2	5
立教大学			1	1			7	7			8	8
早稲田大学		2	1	3		2	2	4		4	3	7
横浜国立大学		2		2						2		2
名古屋大学			1	1	1	2	3	6	1	2	4	7
名古屋市立大学		1		1			2	2		1	2	3
京都大学		2	1	3			1	1		2	2	4
同志社大学			1	1			2	2			3	3
立命館大学		1	1	2		1	2	3		2	3	5
大阪大学		1	2	3		2	2(1)	4(1)		3	4(1)	7(1)
大阪公立大学		2		2		2	1	3		4	1	5
関西大学		2(1)		2(1)		1	5	6		3(1)	5	8(1)
神戸大学		1	1	2		2	2	4		3	3	6
関西学院大学		2		2	1	2	1	4	1	4	1	6
広島大学		2	1	3		2	2	4		4	3	7
九州大学		2		2		2	2	4		4	2	6
計(30大学)	2(1)	33(1)	22	57(2)	2	34	67(1)	103(1)	4	67	89	160(3)

(注) 括弧内は、留学生数(内数)

(表3) 累計の採用奨学生数(大学別)

(単位:名)

大 学 名	大 学 院 生		学 部 生	計
	博 士	修 士		
北 海 道 大 学	34	47	107	188
東 北 大 学	25	38	117	180
新 潟 大 学	6	37	112	155
筑 波 大 学	4	13	9	26
お茶の水女子大学	0	9	9	18
東 京 大 学	28	42	113	183
東京科学大学 (東京工業大学)	32	42	101	175
一 橋 大 学	34	38	99	171
東京都立大学 (首都大学東京)	30	40	109	179
慶 應 義 塾 大 学	31	39	119	189
上 智 大 学	30	38	120	188
中 央 大 学	3	23	96	122
日 本 大 学	2	7	15	24
法 政 大 学	0	21	86	107
明 治 大 学	0	32	83	115
立 教 大 学	3	21	95	119
早 稲 田 大 学	32	45	108	185
横 浜 国 立 大 学	3	10	9	22
名 古 屋 大 学	33	28	110	171
名古屋市立大学	0	2	45	47
京 都 大 学	28	55	107	190
同 志 社 大 学	0	19	89	108
立 命 館 大 学	0	27	74	101
大 阪 大 学	25	42	98	165
大阪公立大学 (大阪市立大学)	32	45	102	179
関 西 大 学	0	12	83	95
神 戸 大 学	33	41	98	172
関 西 学 院 大 学	26	38	110	174
広 島 大 学	34	43	102	179
九 州 大 学	27	44	100	171
計	535	938	2,625	4,098

(注) 旧留学生制度による留学生を除く。

② 奨学生修了状況

今年度は、奨学生 71 名（博士課程 1 名、修士課程 35 名、学部 35 名。早期卒業等に伴う修了者を含む。）が修了しました。その状況は、表 4 及び表 5 のとおりです。

（表 4）令和 7 年(2025 年)度奨学生修了者の就職・進学状況 （単位：名）

区 分		大学院生		学部生	合計	備考
		博士課程	修士課程			
(1)就 職		1	28	22	51	
内 訳	一般企業 そ の 他		26	19	45	{ 株式会社 40 名 その他 5 名
	大 学 等 研究機関	1			1	
	公 務 員		2	3	5	
(2)進 学			3	10	13	{ 同大学大学院 11 名 他大学大学院 2 名
(3)在 学						
(4)そ の 他			4	3	7	{ 進路未定 1 名 受験 6 名
計		1	35	35	71	

（注）「(1) 就職」の「大学等研究機関」は、日本学術振興会海外特別研究員に採用

(表 5) 年度別の奨学生修了者数

(単位：名)

学 種 修了年度	大学院生		大学生	合 計
	博士課程	修士課程		
1976～2020	499	781	2,384	3,664
2021	9	8	28	45
2022	4	27	32	63
2023	4	22	31	57
2024	2	24	40	66
2025	1	35	35	71
計	519	897	2,550	3,966

(注) 辞退者を含み、2013 年度までの留学生（旧留学生制度）を除く。

③ 奨学金授与式

2025 年度（第 52 回）奨学金授与式は、7 月 11 日（金）午後 3 時より「如水会館」（千代田区一ツ橋）において、今年度採用の奨学生、推薦大学の副学長や学生部長、本財団役員、評議員、奨学生選考委員、参与、証券奨学同友会幹事など総勢 104 名で開催しました。

引き続き開催した懇親会では、奨学生選考委員会委員の豊田岐聡先生（大阪大学副学長・教授）から乾杯のご発声をいただきました。その後、和気藹々とした交流が持たれました。

○ 式次第

開式	一、 挨拶	理事長	新 芝 宏 之
	一、 挨拶	理 事	藤 原 誠
		奨学生選考委員長	
	一、	奨学生証書授与	
	一、 祝 辞	早稲田大学	
		理 事	藤 田 誠
	一、 謝 辞	奨学生代表	
		東京科学大学大学院	大庭マリア鈴音
		博 士 課 程	
閉式			

(敬称略)

④ 奨学生修了式

2025 年度（第 51 回）奨学生修了式は、3 月 5 日（木）午後 3 時より「如水会館」（千代田区一ツ橋）において、今年度修了の奨学生、推薦大学の副学長や学生部長、本財団役員、評議員、奨学生選考委員、参与、証券奨学同友会幹事など総勢 108 名で開催しました。

引き続き開催した懇親会では、奨学生選考委員会委員の廣瀬克哉先生（法政大学教授）から乾杯のご発声をいただきました。その後、和気藹々とした交流が持たれました。

○ 式次第

開式	一、 挨拶	理事長	新 芝 宏 之
	一、 挨拶	理 事	藤 原 誠
		奨学生選考委員長	
	一、	奨学生修了証書及び記念品授与	
	一、 祝 辞	名古屋大学	
		副 総 長	佐 久 間 淳 一
	一、 祝 辞	証券奨学同友会	
		代 表 幹 事	高 田 とし子
	一、 謝 辞	奨学生代表	
		名古屋大学大学院博士課程	遠 山 祥 史
閉式			(敬称略)

⑤ 奨学生推薦大学連絡会

推薦大学の担当者と財団事務局との間で奨学生の支援に関し連携を図るため、2 月に奨学生推薦大学連絡会をオンラインで開催しました。

「新年度奨学生募集について」を議題に財団事務局より説明を行うとともに質疑応答の時間を設け情報交換を行いました。

⑥ 奨学生指導関係

民間の財団なるが故に可能とされる「心の通った奨学制度」を目指したいとの思いから、奨学生が所属大学あるいは学部の垣根を越えて互いに交流し合える場として、「奨学生懇談会」を開催しています。

本年度は、10 月 25 日（土）午後 3 時より「ロイヤルパークホテル」（中央区日

本橋蛸殻町）において、2025 年度奨学生懇談会を開催しました。

式典では、主催者を代表して新芝宏之理事長から挨拶を、次いで証券奨学同友会前代表幹事である青木人志先生（一橋大学特任教授）による講演「大学教師生活の終了間近に考えることー現役奨学生へのメッセージ」が行われました。その後、懇親パーティー会場にて懇親会を開催し、理事・奨学生選考委員会副委員長の藤田誠一様（神戸大学名誉教授）から挨拶・乾杯の発声をいただき歓談が行われました。

なお、当日は、奨学生 134 名、同友会会員 47 名、大学関係者 22 名、財団役員等関係者 13 名の総勢 216 名の皆様にご参加をいただき盛況の中で終了しました。

○ 式次第

開式		
一、 挨拶	理 事 長	新 芝 宏 之
一、 講演		
	「大学教師生活の終了間近に考えることー現役奨学生へのメッセージ」	
	一橋大学 特任教授 青 木 人 志	
	（証券奨学同友会 前代表幹事）	
閉式		
		（敬称略）

⑦ 証券奨学生の集い

大学毎に現役奨学生と幅広い年次の修了者との懇親を深めることを目的とした証券奨学生の集いを行っております。今年度は東京科学大学、日本大学、京都大学、同志社大学、横浜国立大学、東北大学、筑波大学、広島大学、立教大学、明治大学及び上智大学の 11 大学について開催し、懇親を深めました。

⑧ 来年度の奨学金の増額について

本年中において、より資質優秀な学生を支援するために本財団の奨学金の魅力を高める必要があるとの観点から、奨学金の額の見直しを検討しました。その結果、来年度から奨学金の額を大幅に増額することを、1 月の書面理事会で決定し、2 月 2 日付で公表しました。これにより、来年度の新しい給与月額 は 90,000 円（自宅外者は 110,000 円）となります。

（２）研究調査助成事業

① 研究調査助成金の給付

社会科学の各分野の研究を対象に、大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している個人又はグループに対し、４月１日から６月３０日まで募集を行い、申請件数 24 件、申請総額 23,330 千円の応募がありました。

９月 30 日の研究調査助成選定委員会の審査を受け、同日に開催された書面理事会で助成件数 6 件、助成金総額 5,980 千円を機関決定し、給付しました。

研究調査助成金の申請状況及び受給者は、表 6 及び表 7 のとおりです。

（表 6）研究調査助成金の申請状況

イ．個人・グループ別

（単位：件）

年度	個 人	グループ	計
2021	10	10	20
2022	10	7	17
2023	14	4	18
2024	13	12	25
2025	10	14	24

ロ．研究期間

（単位：件）

年度	1 年以内	1 年超 1.5 年以内	1.5 年超 2 年以内	2 年超	計
2021	16	2	0	2	20
2022	12	1	3	1	17
2023	14	3	1	0	18
2024	22	1	2	0	25
2025	23	0	1	0	24

（表 7）2025 年度研究調査助成金受給者の一覧

研 究 代 表 者		研 究 調 査 課 題	研究 形態	金額 (万円)
関 西 学 院 大 学 経 済 学 部 教 授	オガワ ヨシトモ 小 川 禎 友	女性のライフコース選好と 家庭における性別的役割に 対する検証	グループ	9 8

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授	スズキ アヤ 鈴木 綾	電気へのアクセスが住民の 経済活動に与えるインパクト 評価：タンザニア・ソー ラーランタン事業の事例	グループ	100
青山学院大学 経営学部 教授	ハットリ ケイスケ 服部 圭介	組織におけるリーダーの寛 大な報酬配分の効果：配分 権限とメンバー特性が努力 誘因に与える影響	グループ	100
東京都健康長寿医療 センター研究所 社会参加とヘルシーエイ ジング研究チーム 研究員（専門副部長）	ムラヤマ ヨウ 村山 陽	単身中高年者の生活困窮予 防に向けた金融リテラシー プログラムの開発：2040 年問題を見据えて	グループ	100
一橋大学 経営管理研究科 教授	ヤスダ ユキヒロ 安田 行宏	スタートアップの資金調達 と IPO 後の成長戦略：ベン チャーキャピタルのタイ プ・投資タイミングの効果 に関する検証	グループ	100
名古屋大学大学院 経済学研究科 教授	ヤナセ アキヒコ 柳瀬 明彦	グローバル経済における戦 略的インフラ整備と制度設 計：基礎理論の構築とその 応用	グループ	100
—————		6 件	598万円	

② 研究出版助成金の給付

社会科学の各分野の研究を対象に、大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している個人又はグループに対し、4月1日から6月30日まで募集を行い、申請件数 28 件、申請総額 28,000 千円の応募がありました。

9月30日の研究調査助成選定委員会の審査を受け、同日に開催された書面理事会で助成件数 9 件、助成金総額 9,000 千円を機関決定しました。

研究出版助成金の申請状況及び受給者は、表 8、表 9 のとおりです。

（表 8）研究出版助成金の申請状況

イ. 著作形態 (単位：件)

年度	単著	共著	計
2021	21	1	22
2022	23	2	25
2023	26	2	28
2024	29	2	31
2025	25	3	28

ロ. 印刷部数

(単位：部)

年度	100 部未満	100 部以上 500 部未満	500 部以上 1,000 部未満	1,000 部以上	計
2021	0	3	15	4	22
2022	0	2	20	3	25
2023	0	3	25	0	28
2024	0	7	18	6	31
2025	0	2	21	5	28

(表 9) 2025 年度研究出版助成金受給者の一覧

出版代表者（著者）		研究出版物タイトル	出版形態	金額 (万円)
大東文化大学 法学部・法学研究科 准教授	オウ ガクシ 王 学 士	サイバー保険の理論的基礎 とその展開	単著	1 0 0
東洋大学 経営学部 教授	キムラ ユウト 木 村 裕 斗	グループ・クリエイティ ビティー個人と集団のイ ンタラクションが生み出 す変革—	単著	1 0 0
山形大学 学術研究大学院 准教授	サトウ ユタカ 佐 藤 豊	動態的な著作権の制限規定 —オーストラリア著作権法 からの示唆	単著	1 0 0
東京大学 総合文化研究 院 助教授	シンタニ サトミ 新 谷 里 美	間接収用の法理——国際投 資法上の補償基盤	単著	1 0 0
亜細亜大学 経営学部 教授	スズキ トモヒロ 鈴 木 智 大	経営者による業績予想の 開示戦略	単著	1 0 0
横浜国立大学 国際社会科学研 究院 教授	セキネ タケマサ 関 根 豪 政	政府調達の国際規制	単著	1 0 0
北海道大学 経済学研究 院 准教授	フカヤマ セイヤ 深 山 誠 也	高齢者介護組織の経営—資 源，活動，価値基準のパッ ケージ—	単著	1 0 0
東京大学 先端科学技術研 究センター 特任研究助 手	モリ アキコ 森 晶 子	先端教育共創の実践と展望	単著	1 0 0
立命館大学 国際経営学 部 教授	ヤン ジョンウ 梁 晟 宇	内部監査の機能と成果—コー ポレートガバナンスからの 考察—	単著	1 0 0
—		9 件		9 0 0 万円

③ 研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式

2025 年度研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式は、11 月 18 日（火）午後 2 時 30 分よりコレド室町 1 内の（株）岡三証券グループ本社会議室において開催しました。研究調査助成金受給者、研究出版助成金受給者、役員、評議員、研究調査助成選定委員、奨学生選考委員にご出席いただき、総勢 30 名で開催しました。当日は、受給者より研究概要等のプレゼンテーションが行われました。

引き続き開催した懇親会では、研究調査助成選定委員の柿崎環様（明治大学教授）から乾杯のご発声をいただきました。その後、和気藹々とした交流が持たれました。

○ 次 第

開式	一、 挨拶	理 事 長	新 芝 宏 之
	一、 挨拶	理 事	北 川 哲 雄
		研究調査助成選定委員会委員長	
	一、 助成金給付書贈呈		
	一、 助成金受給者挨拶	研究調査助成金受給者	
		研究出版助成金受給者	
閉式			
			（敬称略）

（３）証券奨学同友会支援事業

同友会は、本財団の奨学生修了者が奨学生時代に培った相互の信頼関係を維持し、一層深めるため、また会員相互の親睦と協調を図るとともに、本財団の発展に寄与することを目的として 1977 年 3 月 18 日に設立されました。

当事業は、この同友会が行う活動を支援するものです。

① 同友会定期総会

今年度は総会と懇親会が 5 月に関西地区、6 月に関東地区でそれぞれ開催され、多数の参加者があり盛況のうち終了しました。

② 同友会報の編集・発行

例年、会員の活動状況、近況報告等を掲載した「証券奨学同友会報」を発行しています。12 月に同友会関西地区幹事の編集により発刊された同友会報第 51 号に係る編集業務及び同友会員はじめ関係者への配付業務を支援しました。

3. 総務事項

(1) 本財団へのご寄附

今年度は、表 10 のとおり、個人 9 件、法人 3 件の合計 12 件、3,320,485 円のご寄附がありました。

(表 10) 2025 年度の寄附者ご芳名

寄附年月日	御 芳 名	区分	金額(円)	趣 旨
2025.5.13	匿名	個人	100,000	財団の奨学事業支援のため
2025.5.24	匿名	個人	5,000	財団の奨学事業支援のため
2025.5.30	匿名	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2025.6.25	山崎 貴博 殿	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2025.9.25	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2025.10.25	橋本 彩 殿	個人	10,000	財団の奨学事業支援のため
2025.11.13	匿名	個人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2025.12.12	岡地 敏則 殿	個人	1,000,000	叙勲を記念して本財団の奨学事業支援のため
2026.3.5	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2026.3.12	匿名	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2026.3.13	石田 洋一・朋代 殿	個人	10,000	財団の奨学事業支援のため
2026.3.18	匿名	法人	15,485	財団の奨学事業支援のため

(2) 理事会、監査会、評議員会、委員会等の開催状況

今年度は、以下の諸会議を開催して所管事項について審議決定しました。

① 理事会

開催日	議 題
2025 年 5 月 22 日	(審議事項) 1. 特定費用準備資金の保有について 2. 2024 年度事業報告及び収支決算について 3. 資産運用委員会委員の選任について 4. 評議員会の招集について (報告事項) 5. 奨学生選考委員会副委員長の互選について

開催日	議 題
	6. 理事の辞任に伴う新理事の選任について 7. 理事長及び常務理事の職務執行状況について 8. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。
2025 年 6 月 19 日 (書面)	(審議事項) 1. 2025 年度採用奨学生の決定について 2. 参与の選任について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2025 年 9 月 30 日 (書面)	(審議事項) 1. 2025 年度研究調査助成金受給者の決定について 2. 2025 年度研究出版助成金受給者の決定について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2026 年 1 月 8 日 (書面)	(審議事項) 1. 2026 年度奨学生の募集について 2. 「奨学金給与規程」の改正について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2026 年 2 月 19 日	(審議事項) 1. 2026 年度資産運用計画について 2. 2026 年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込み、公益目的事業の種類及び内容について 3. 特定費用準備資金等取扱規程の改正について 4. 2026 年度研究調査助成募集要項及び 2026 年度研究出版助成募集要項について 5. 奨学生選考委員会委員の任期満了に伴う選任等について 6. 研究調査助成選定委員会委員の任期満了に伴う選任等について 7. 評議員会の招集について (報告事項) 8. 理事長及び常務理事の職務執行状況について

開催日	議 題
	9. 2025 年度奨学生修了者の就職・進学状況について 10. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

② 監査会

開催日	議 題
2025 年 5 月 7 日	(審議事項) 1. 2024 年度の事業及び財務の状況について 2. 2024 年度事業報告書及び収支決算書について (監査実施) 3. 監査報告書の承認について 以上、監査した結果、2024 年度事業報告書及び収支決算書は、適法かつ正確であると承認された。

③ 評議員会

開催日	議 題
2025 年 6 月 12 日	(審議事項) 1. 2024 年度収支決算について 2. 理事の辞任に伴う新理事の選任について 3. 評議員の辞任に伴う新評議員の選任について (報告事項) 4. 特定費用準備資金の保有について 5. 2024 年度事業報告について 6. 奨学生選考委員会副委員長の互選について 7. 資産運用委員会委員の選任等について 8. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。
2026 年 3 月 9 日	(審議事項) 1. 2026 年度理事長等の報酬年額について 2. 2026 年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込み、公益目的事業の種類及び内容について

開催日	議 題
	3. 理事の選任（追加）について （報告事項） 4. 2026 年度資産運用計画について 5. 特定費用準備資金等取扱規程の改正について 6. 2026 年度奨学生募集要項について 7. 2026 年度研究調査助成募集要項及び 2026 年度研究出版助成募集要項について 8. 奨学生選考委員会委員の任期満了に伴う選任等について 9. 研究調査助成選定委員会委員の任期満了に伴う選任等について 10. 2025 年度奨学生修了者の就職・進学状況について 11. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

④ 委員会

1) 奨学生選考委員会

開催日	議 題
2025 年 4 月 9 日 (書面)	(審議事項) ・奨学生選考委員会副委員長の互選について 以上、原案どおり承認された。
2025 年 6 月 19 日	(審議事項) 1. 2025 年度奨学生の選考について 2. その他意見交換 以上、いずれも原案どおり承認された。
2025 年 10 月 27 日	(審議事項) ・2026 年度奨学生募集要項の策定について 以上、原案どおり承認された。
2025 年 12 月 16 日 (書面)	(審議事項) ・2026 年度奨学生の募集について

開催日	議 題
	以上、原案どおり承認された。

2) 研究調査助成選定委員会

開催日	議 題
2025 年 9 月 30 日	(審議事項) 1. 2025 年度研究調査助成金受給者の選定について 2. 2025 年度研究出版助成金受給者の選定について 3. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。
2026 年 1 月 19 日 (書面)	(審議事項) 1. 2026 年度研究調査助成の募集について 2. 2026 年度研究出版助成の募集について 3. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

3) 資産運用委員会

開催日	議 題
2025 年 11 月 12 日	(審議事項) 1. 2025 年度資産運用状況について 2. 2026 年度資産運用計画について 3. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。
2026 年 1 月 28 日	(審議事項) 1. 2025 年度資産運用状況について 2. 2026 年度資産運用計画（案）について 3. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

(3) 役員、評議員、委員の異動状況

今期は、以下の役員、委員の異動がありました。

① 役員

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2025 年 6 月 12 日 (評議員会)	(就 任) 理 事 嶋 本 正 (株式会社野村総合研究所 元取締役会長) (退 任) 理 事 稲 野 和 利 (株式会社しずおかフィナンシャルグループ 取締役) 理 事 日比野 隆 司 (株式会社大和証券グループ本社 特別顧問 兼 大和証券株式会社 特別顧問)
2026 年 3 月 9 日 (評議員会)	(就 任) 理 事 松 田 千恵子 (東京都立大学大学院 教授)

② 評議員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2025 年 6 月 12 日 (評議員会)	(就 任) 評議員 稲 野 和 利 (株式会社しずおかフィナンシャルグループ 取締役) 評議員 日比野 隆 司 (7 月 1 日付) (株式会社大和証券グループ本社 特別顧問 兼 大和証券株式会社 特別顧問) (注)

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
	(注) 日本証券業協会 会長 7月1日就任 (退 任) 評議員 内 藤 誠二郎 (内藤証券株式会社 取締役会長) 評議員 森 田 敏 夫 (6月30日付) (日本証券業協会 前会長)

③ 奨学生選考委員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2025年4月9日 (奨学生選考委員会)	(就 任) 副委員長 藤 田 誠 一 (神戸大学 名誉教授)
2026年3月31日 (理事会)	(退 任) 委 員 廣 田 元 孝 (広田証券 取締役会長)

④ 資産運用委員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2025年4月1日 (理事会)	(再 任) 委 員 浅 村 憲 郎 (SMBC 日興証券株式会社 理事) 委 員 岩 崎 正 裕 (大和証券株式会社 執行役員)

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
	委 員 加 藤 康 之 (京都先端科学大学 教授) 委 員 高 橋 典 孝 (三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 金融市場トレーディング部長) 委 員 平 岡 徹 也 (野村證券株式会社 常務執行役員) (辞任：2026 年 3 月 31 日) (就 任) 委 員 橋 口 雅 勝 (みずほ証券株式会社 金融市場本部 副本部長) (辞任：2026 年 3 月 31 日)

⑤ 顧問・参与

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2025 年 4 月 1 日 (理事会)	(再 任) 参 与 入 木 雅 和 (元常務理事) 参 与 庄 司 興 吉 (東京大学 名誉教授) (就 任) 参 与 小 林 康 夫 (東京大学 名誉教授) 参 与 宮 島 司 (慶應義塾大学 名誉教授・朝日大学 教授)

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2025 年 6 月 12 日 (理事会)	(就 任) 参 与 内 藤 誠二郎 (内藤証券株式会社 取締役会長)

(4) 資産運用への取組み等

○ 資産運用の基本方針

定款及び資産運用管理規程に則り、資産価値の維持を図ることを旨とし、事業目的の遂行に資するため、最善と考えられる方法により、安定性、継続性及び収益性に配慮した資産運用を行います。

(i) 資産運用状況

2025 年度の各資産クラスにおける収益は国内債券 88.1 百万円、国内株式 46.9 百万円、国内 REIT37.4 百万円、外国債券 143.8 百万円になり、合計で 316.2 百万円、前年度比 4%の増益になりました。

なお、国内金利の上昇を受け、より安定的・継続的な運用に資するために国内債券に分類される ETF の一部（基本財産 4 億円）を国債に入れ替えました。

また資産運用計画（中期計画及び 2025 年度計画）の基本ポートフォリオにおける各資産クラスの割合を維持するために保有する金融商品 5 億円（基本財産）を売却し、5 億円の買付を行いました。

売却の内訳は、基本財産として、国内株式に分類する ETF 1.6 億円、外国債券に分類する ETF 3.4 億円でした。また、買付の内訳は、基本財産として、国内債券に分類する国債 5 億円でした。

なお、事業安定積立資産の売却・買付は行いませんでした。

(ii) 公益充実資金等

2025 年度は改正公益認定法施行に伴い、従来の公益事業に係る特定費用準備資金及び資産取得資金は廃止になり、それらは公益充実資金に移行しました。それに伴い 2024 年度に制定した特定費用準備資金等取扱規程を公益充実資金等取扱規程に改正しました。

なお、2025 年度は奨学金積立を 8,800 万円、助成金積立を 700 万円、公益充実資金として積み立てました。

(5) ガバナンスへの取組み

○ 基本方針

公益法人として、透明性と説明責任を重視したガバナンス体制を構築して、社会から信頼される組織運営を行っています。

① 理事会の運営

理事会は、外部理事を含む理事で構成され、定款に基づき、理事会の定期的な開催と必要に応じた臨時理事会を開催し、柔軟かつ機動的な意思決定を行っています。

② 委員会の運営

外部有識者により構成された委員会を事業目的別に設置しています。

奨学生選考委員会は、定款及び関連規程に基づき、指定大学に対して透明性を確保した推薦プロセスによる学生の推薦を依頼し、推薦された応募者に対し、書類審査及び面接審査を実施して採用候補者を決定しています。

研究調査助成選定委員会は、定款及び関連規程に基づき、全国の大学・研究機関等に募集案内を行い、応募のあった研究者に対し、書類審査を実施して助成候補者を決定しています。両委員会で決定された候補者は、理事会にて正式に採用を決定することで、適切なガバナンスの確保に努めています。

③ 監事の設置

外部の有識者による監事が、理事長の職務執行や財務状況について公正な立場から監査を行い、健全な運営と社会的信頼の向上に努めています。

④ 評議員会の運営

外部の有識者による評議員が、定款に基づき、法人の運営に関する基本方針や役員の選任等を行い、健全な運営の確保に努めています。

事業報告の附属明細書

公益財団法人 日本証券奨学財団

※ 記載すべき事項はありません。

Ⅱ 財務諸表等

1. 財務状況の概要

(1) 資産の状況

「貸借対照表」(2026年3月31日現在)において、資産総額は、9,171,514千円となり、また負債総額は、3,781千円となりました。資産総額から負債総額を差し引いた正味財産総額は、9,167,733千円となりました。

(2) 正味財産の増減状況

- ① 一般正味財産期末残高は一般正味財産期首残高に一般正味財産増減額611,358千円を加算した結果、6,919,172千円となりました。
- ② 指定正味財産期末残高は、指定正味財産期首残高に当期指定正味財産増減額50,486千円を加算した結果2,248,560千円となりました。
- ③ 以上により、期末(2026年3月31日現在)の正味財産期末残高は、9,167,733千円となりました。

Ⅲ 資料編

○ 役員・評議員・委員等名簿

令和8年（2026年）3月31日現在（50音順・敬称略）

役 員

理 事 長	新 芝 宏 之	株式会社岡三証券グループ取締役社長
常 務 理 事	松 永 秀 昭	
理 事	神 作 裕 之	学習院大学教授
	北 川 哲 雄	青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授
	佐 賀 卓 雄	日本証券経済研究所名誉研究員
	嶋 本 正	株式会社野村総合研究所元取締役会長
	岳 野 万里夫	日本証券業協会副会長
	藤 田 誠 一	神戸大学名誉教授
	藤 原 誠	東京国立博物館館長
	松 田 千恵子	東京都立大学大学院教授
監 事	石 井 登	立花証券株式会社相談役
	梅 原 知 彦	共和証券株式会社取締役社長
	菅 原 和 信	菅原和信公認会計士事務所公認会計士

評 議 員

評議員会議長	稲 野 和 利	株式会社しずおかフィナンシャルグループ 取締役
評 議 員	宇 野 勝 博	大阪大学名誉教授
	岡 地 敏 則	岡地証券株式会社取締役会長
	近 藤 勝 義	株式会社QUICK特別顧問
	清 水 啓 典	一橋大学名誉教授
	武 川 正 吾	東京大学名誉教授
	中 島 隆 博	東京大学教授
	日比野 隆 司	日本証券業協会会長

委 員

奨学生選考委員会

委 員 長	藤 原 誠	東京国立博物館館長
-------	-------	-----------

副委員長	藤田 誠一	神戸大学名誉教授
委員	木下 千花	京都大学大学院教授
	鈴木 千佳子	慶應義塾大学教授
	伊達 悦朗	大阪大学名誉教授
	津田 敦	東京大学大気海洋研究所特任教授
	豊田 岐聡	大阪大学副学長・教授
	中尾 まさみ	東京大学特任教授
	廣瀬 克哉	法政大学教授
	廣田 元孝	広田証券株式会社取締役会長
	藤井 真理子	東京大学名誉教授
	向山 敦夫	大阪公立大学名誉教授
	山口 隆弘	山和証券株式会社取締役社長

研究調査助成選定委員会

委員長	北川 哲雄	青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授
副委員長	松田 千恵子	東京都立大学大学院教授
委員	柿崎 環	明治大学教授
	田渕 六郎	上智大学教授
	中野 勉	青山学院大学大学院教授
	鍋島 直樹	名古屋大学大学院教授
	野村 容康	獨協大学教授
	家森 信善	神戸大学教授

資産運用委員会

委員長	平岡 徹也	野村證券株式会社常務執行役員
委員	浅村 憲郎	SMBC 日興証券株式会社理事 金融市場副本部長
	岩崎 正裕	大和証券株式会社執行役員金融市場担当兼 グローバル・マーケット戦略企画副担当
	加藤 康之	京都先端科学大学教授
	高橋 典孝	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 執行役員フィクストインカム・エクイティグル ープ長
	橋口 雅勝	みずほ証券株式会社金融市場本部副本部長

顧問

佐々木 正 峰 国立科学博物館顧問

参 与

藍 澤 基 彌	アイザワ証券株式会社相談役
入 木 雅 和	前常務理事
小 林 康 夫	東京大学名誉教授
庄 司 興 吉	東京大学名誉教授
須 藤 時 仁	獨協大学元教授
内 藤 誠二郎	内藤証券株式会社取締役会長
宮 島 司	慶応義塾大学名誉教授・朝日大学教授
山 下 友 信	東京大学名誉教授
渡 部 亮	法政大学名誉教授